

ご好評につき

2025年度下期
追加募集!!

9月4回
お届け開始

pal*system

パルシステム千葉

2025年9月1回・9月2回

注文受付期間／8月25日(月)～8月29日(金)

9月1日(月)～9月5日(金)

お届け開始週／9月22日(月)～

地産地消

数量限定

届くたびに
好きになる!!

レシピは
こちら



〈調理例〉

こだわりの豚肉

隔週でお届けします!

環境負荷低減のため、“ノントレー包装”でお届けします。

パルシステム千葉のこめ豚、
知ってますか?

千葉の米で育てた千葉の豚肉。
パルシステム千葉の組合員限定で
予約登録をした方にだけ
お届けします。

この機会にぜひお試しください!
詳しくは裏面をご覧ください。

注文番号

184811

パルシステム千葉のこめ豚

各回
(隔週) **858**円 (税込**927**円)

脂あっさり、
コクがあると好評!



スタッフみんなで、豚にストレスを与えず
すくすく育てもらえるように、
創意工夫しながら、千葉のこめ豚の
お世話をしています。
おいしいお肉になるように、
一生懸命育てているので、
ぜひ一度食べてもらえたら
うれしいです。

“パルシステム千葉のこめ豚”を生産する
北見畜産(市原市)の
北見則弘さん(左)と北見悠さん(右)

お届け商品ラインナップ



1回目

9月4回(9/22月～9/26金)

・カタロース角切り(冷凍) 140g
・ひき肉(バラ凍結) 200g



2回目

10月2回(10/6月～10/10金)

・バラしゃぶしゃぶ用(冷凍) 140g
・小間切(バラ凍結) 160g



3回目

10月4回(10/20月～10/24金)

・ローススライス(冷凍) 140g
・モモしょうが焼用(冷凍) 160g



4回目

11月1回(11/3月～11/7金)

・バラ焼肉用スライス(冷凍) 140g
・厚切り小間切(バラ凍結) 160g



5回目

11月3回(11/17月～11/21金)

・モモしゃぶしゃぶ用(冷凍) 160g
・小間切(バラ凍結) 160g



6回目

12月1回(12/1月～12/5金)

・バラ鍋肉用スライス(冷凍) 140g
・モモスライス(冷凍) 160g



7回目

1月2回(1/12月～1/16金)

・カタローススライス(冷凍) 140g
・モモしょうが焼用(冷凍) 160g



8回目

1月4回(1/26月～1/30金)

・ローススライス(冷凍) 140g
・小間切(バラ凍結) 160g



9回目

2月2回(2/9月～2/13金)

・バラスライス(冷凍) 140g
・モモスライス(冷凍) 160g



10回目

2月4回(2/23月～2/27金)

・ロース切身2枚(冷凍) 140g
・小間切(バラ凍結) 160g



11回目

3月2回(3/9月～3/13金)

・バラ焼肉用スライス(冷凍) 140g
・ひき肉(バラ凍結) 200g



12回目

3月4回(3/23月～3/27金)

・モモしょうが焼用(冷凍) 160g
・厚切り小間切(バラ凍結) 160g

※写真は全て参考イメージです。

こだわっています！

“パルシステム千葉のこめ豚”



“パルシステム千葉のこめ豚”は、取り組みをはじめてから今年で16年目。出荷前の約2ヵ月間、千葉で栽培した米を飼料に10%以上配合し育てます。千葉の米で育てた、千葉の豚肉を千葉の組合員へお届けする「地域循環・地産地消」商品。現在ではパルシステム千葉の「地産地消」商品の代表選手へと育ち、「脂あつさり、コクがある」と好評です。

では、その飼料用米はどこからくるのでしょうか。

飼料用米の栽培に参加し取り組んでいるのは千葉県サンドファーム旭、市原飼料用米生産・利用協議会です。お米を作らなくなった田んぼを再利用し、飼料用米を生産ははじめました。飼料用米の栽培は農地と食卓を守り、食料自給率向上につながります。また、畜産のふん尿を堆肥化し、農地へ還元しています。国産飼料で育てたい畜産農家と、休耕田を活用したい米農家がタッグを組んで取り組んでいます。それが“パルシステム千葉のこめ豚”の「**耕畜連携**」です。国内で生産でき、持続的に確保できる飼料として、飼料用米の生産や利用が定着してきました。畜産農家が継続的に利用してきたことで、水田の減少を少しでも食い止めることにつながっています。今年は、飼料用米約115t、こめ豚は約1,600頭の出荷を予定しています。

サンドファーム旭

千葉県の東部に位置し、北は北総台地、南は九十九里浜を望む、温暖な地域です。パルシステムの組合員には、トマト、ミニトマト、きゅうりなどの野菜をお届けしています。パルシステム千葉とは交流が盛んなこともあり、“パルシステム千葉のこめ豚”の飼料用米の栽培にも取り組んでいる産地です。

予約登録システムです

1. お申し込み

9月1回、9月2回のご注文で、**184811**の番号と数量をご記入ください。1回ごとのご注文、途中回のキャンセルはご遠慮いただいております。

「パルシステムアプリ」からのご注文は、画面下の「カゴ」をタップして、

注文番号を入力 から注文番号・数量をご入力ください。

※検索画面で注文番号や商品名を入力しても検索結果には出ませんのでご注意ください。

2. お届け

隔週（A/C週）の冷凍品と一緒にお届けします。

下期の配達週は上記のスケジュールとなります。

※変更となる場合は別途ご案内いたします。

3. 自動継続

ご登録後は、次年度以降も自動継続となります。

※2026年1～2月頃に、更新確認のご案内が入ります。

市原飼料用米生産・利用協議会

市原市の三和養老地区にて2010年発足。飼料用米の集団転作に取り組み、新たな水田営農を行うなど、飼料用米の生産、耕作地の維持に積極的に取り組んでいます。

お問い合わせ

パルシステム千葉 宅配事業部 産直・商品政策推進課

TEL:047-420-2604 / E-mail:palchiba-mail@pal.or.jp

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00